夢去りぬ（1955）

THE GIRL IN THE RED VELVET SWING

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 108分
初公開日 1956/01/20
公開情報 ＦＯＸ

【解説】

脚本のブラケット（Ｂ・ワイルダーとの仕事で有名）が自ら製作も兼ねた、今世紀初頭、最もセンセーショナルな話題となった殺人実話の映画化。当時アメリカきっての建築家だったスタンフォード・ホワイトはＮＹ社交界の花形の富豪青年ハリー・Ｋ・ソウに射殺される。それは踊り子だったイヴリンを見初めたホワイトが、彼女の心がハリーに移り婚約したにも関わらず、強引に迫った結果だった。嫉妬に狂う紳士のホワイトをＲ・ミランドがねちっこく好演。青年にＦ・グレンジャー。イヴリンに英国出身のグラマー、Ｊ・コリンズ。原題の“赤いヴェルヴェットのぶらんこ”とは踊り子の彼女がショウで乗っていて、彼女に執心のホワイトが屋敷に作らせたもの。かなり変態的な盲愛の物語は、スキャンダル好きのブラケットの趣味だろうが、監督フライシャーのその後得意とする分野でもある。が、装いはあくまでメロドラマ。

【クレジット】

監督	リチャード・フライシャー	Richard Fleischer
製作	チャールズ・ブラケット	Charles Brackett
原作	チャールズ・サミュエル	
脚本	ウォルター・ライシュ	Walter Reisch
	チャールズ・ブラケット	Charles Brackett
撮影	ミルトン・クラスナー	Milton Krasner
音楽	ヒューゴ・フリードホーファー	Hugo Friedhofer
出演	ファーリー・グレンジャー	Farley Granger
	レイ・ミランド	Ray Milland
	ジョーン・コリンズ	Joan Collins
	ルーサー・アドラー	Luther Adler
	マージョリー・ヘレン	Marjorie Helen

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.